科目名 Subject	グローバルコミュニケーション（日本語）Ⅰ Global Communication (Japanese) Ⅰ			教員名	日本語チーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○	○		○	◎	
科目の概要	本授業では、留学生が短大の授業を受けるために必要な日本語の知識・技能を学ぶと同時に，日本の伝統・文化について学び，美とは何か，自分の考えを持つことを目標とする。授業の前半では，ノートのとり方、文章の書き方、口頭発表の方法などのアカデミック・スキルを学ぶ。後半では文章の書き方を学び、まとめとして日本の伝統や文化に関連したテーマで短いレポートを書きあげる。レポートを書くにあたり、日本の伝統や文化とは何かを調べ考察し，その根底にある美とは何かを自分のことばで表現できるようにする。また、学習者相互のピアレスポンスを行いながらレポートを書きあげることによって他者の考えを受け入れ、課題を解決する力を養う。完成したレポートはクラス内で発表し、相互評価を行うことで、学生一人ひとりの主体性を高める。					
授業方法	ZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業を行う（新型コロナの状況によっては対面になることもある）。詳しい授業方法については、初回のオリエンテーションにて履修者に説明する。教師と学生、学生同士の双方向的なやり取りを基本とする。					
授業の目標	口頭発表の方法を理解し、実際に行うことができる。日本の伝統と文化を学び、自分の関心に基づいた短いレポートを記述することができる。日本の伝統・文化、美についての自分の考えを、他者に説明することができる。					
時間外学習 （予習・復習）	授業の最後に次回内容を伝えるので、次の授業内容について確認し理解しておくこと。また学習した項目については、よく復習し、他授業にも生かせるように努力すること。予習復習は全体で15時間は必要とする。					
教科書・教材	教科書	『聴解・発表ワークブック』犬飼康弘、スリーエーネットワーク、2007				
	教材	なし				
	使用設備・備品	特になし				
	参考文献	なし				
評価方法	各回の課題（30%）、期末課題レポート・発表（50%）、授業の態度・参加度（20%）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。					
履修上の注意	主体的な参加を求めます。毎回の授業を大切にしてください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 授業の目的・内容・評価を知る	授業の目標、内容、評価について理解し、本授業における自分の目標を述べることができる。	メモを取る方法を復習する（30分）。次回授業の言葉の意味を調べ理解しておく（30分）
第２回	発表の聞き取り（１） ・発表全体の流れを学ぶ ・発表のための表現を学ぶ	基本的な表現や構成を参考に簡単な発表を行うことができる。	発表のための基本的な表現を覚える（30分）。メモの取り方や発表の構成を復習する(30分)
第３回	発表の聞き取り（２） 背景説明、問題提起、分類の表現を学ぶ	背景説明、問題提起の内容を聞き取り、説明できる。テキストの練習問題を見て発表を行うことができる。	授業で出てきた表現や語彙を覚える（30分）。次回資料の講義の聞き方について読み、表現を覚える（30分）
第４回	発表の聞き取り（３） 背景説明、問題提起から本論、データの説明の仕方を学ぶ	背景説明、問題提起から本論、データの説明の部分を聞き取り、説明できる。テキストの練習問題を見て発表を行うことができる。	授業で出てきた表現や語彙を覚える（30分）。次回資料の講義の聞き方について読み、表現を覚える（30分）
第５回	発表の聞き取り（４） データの提示、説明、解釈の仕方を学ぶ	データの提示、説明、解釈の部分を聞き取り、説明できる。テキストの練習問題を見て発表を行うことができる。	授業で出てきた表現や語彙を覚える（30分）。次回資料の講義の聞き方について読み、表現を覚える（30分）
第６回	発表の聞き取り（５） 意見の述べ方を学ぶ	意見述べの部分を聞き取り、説明できる。テキストの練習問題を見て発表を行うことができる。	授業で出てきた表現や語彙を覚える（30分）。次回資料の講義の聞き方について読み、表現を覚える（30分）
第７回	発表の聞き取り（６） 結論、全体のまとめと今後の課題の述べ方を学ぶ	発表全体を聞き取り、説明できる。テキストの練習問題を見て、全体の発表を行うことができる。	授業で出てきた表現や語彙を覚える（30分）。次回課題について簡単に調べておく（30分）
第８回	文章の書き方（1） 文体、句読点について学ぶ	文体・句読点を正しく記述することができる。日本文化と自国の文化の差異について述べることができる。	句読点・文体の使い方を確認し、練習する（60分）
第９回	文章の書き方（２） 文章の構成を学ぶ レポートのテーマを決める	序論・本論・結論の形式を理解し、記述することができる。	文章の形式を確認し、次回レポートの構成を考えメモしてくる（60分）
第１０回	日本文化・伝統に関するレポートを書く（1）序論の書き方を学ぶ	日本文化・伝統に関するレポートのテーマ、内容についてメモを参考にクラスメイトと議論することができる。	授業での話し合いを参考にレポートの序論を書いてくる（60分）
第１１回	日本文化・伝統に関するレポートを書く（2）意見交換の仕方を学ぶ	レポートの序論に書いた内容をめぐって、クラスメイトと議論することができる。自分のテーマに対する考えを述べることができる。	授業での話し合いを参考にレポートの本論を書いてくる（60分）
第１２回	日本文化・伝統に関するレポートを書く（3）本論の書き方を学ぶ	レポートの本論をクラスメイトと読み合い、レポートの内容や構成の改善案を説明することができる。	序論・本論を読み直し、全体を修正する（60分）
第１３回	日本文化・伝統に関するレポートを書く（4）結論の書き方を学ぶ	構成が一貫したレポートを書くことができる。日本の文化・伝統、美についての自分の考えを記述することができる。	レポートの結論を書き、全体を完成させる（60分）口頭発表の準備をしてくる（60分）
第１４回	レポート内容を発表する	レポートをもとに、日本の文化・伝統、美について自分の考えたことを、他者に向けて説明することができる。	自分の口頭発表の振り返りをする（30分）。
第１５回	まとめ　相互評価	学習者間の相互評価を通して、今期の活動や作品を振り返り、これからの課題を述べることができる。	活動全体の復習をする(30分)